2025年8月6日

青森県知事 宮下 宗一郎 殿

核のゴミから未来を守る青森県民の会

共同代表 阿部 一久

共同代表 奥村 榮

共同代表 古村 一雄

リサイクル燃料貯蔵（株）に関する中長期搬入・搬出計画に対する
要請及び公開質問状について（依頼）

去る7月7日に、東京電力（株）、日本原電（株）（以下東電等）リサイクル燃料貯蔵（株）（以下RFS）が、宮下知事に報告した「RFSに関する中長期搬入・搬出計画」（以下、中長期計画）は県民の疑問、不安に全く答えず、むしろ疑問が増え、「青森県が核のゴミ捨て場にされる」との不安が更に募るもので、到底容認できる内容ではありません。

当県民の会の2025年（令和7年）6月26日付公開質問状に対する、2025年（令和7年）7月15日付回答では、中長期計画に対して「六ヶ所再処理工場への搬入することについて数字的な説明があったとは、県民の皆様の一定の不安解消につながるものと受け止めています」としています。

そうであれば、知事は事業者から受けた数字の内容を県民に説明すべきであります。

この度の中長期計画に県として毅然とした対応をとらなければ、かつて「原船むつ」が漂流し、また、むつ市に戻ってきたと同じように、既に再処理工場も、高レベル一時貯蔵施設も、漂流し、今度は中間貯蔵施設も漂流させてはなりません。

仮にそのようなことになれば、新たな県政の苦悩、混迷の課題と負の遺産を子どもや若者たちの次の世代に増やすこととなります。

これを回避するために、別紙（1）の観点から、下記により知事に要請及び公開質問状を提出します。

記

1、要請事項

- （1）むつ市民、県民に対する説明会の開催
（国、事業者の出席を県が求めること）

- (2)本計画及び核のゴミ問題に関する部局主導による当県民の会対象の知事対話集会「あおばな」の開催
- (3) 本計画及び原子力政策を県民参加で審議する第三者検討会議の設置
- (4) 本計画の根拠と裏付け資料を国、事業者に早期に求め、公表する。
- (5) 本計画に対する国の見解と対応について説明すること。

2、公開質問状（別紙2）

県として答えられない内容については、国、事業者の説明を求め、それに県の見解を付してご回答下さるようお願いいたします。

別紙（1）RFSに関する中長期計画が県民の不安と疑問を増やすことになる主な理由

以上

「核のゴミから未来を守る青森県民の会」

事務局 青森県八戸市根城9丁目19-9 浅石法律事務所内

0178-47-2321

メールアドレス miraiomamoru.kenminnokai@gmail.com